

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 第2回所沢市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和7年1月10日(金)午後3時00分から午後5時00分まで
開 催 場 所	所沢市役所 6階 604会議室
出席者の氏名	審議会委員 渡辺 浩平、秋元 智子、河井 一広、甲斐 文祥、神藤 年三、 宮高 隆、長沼 浩、高橋 秀世、鳴島 裕子、坂根 裕子、 大住 真由美、清水 映美、平間 裕子
欠席者の氏名	尾崎 範子、澁谷 正則
議 題	(1) 紙おむつの資源化について (2) 電池類の分別について (3) その他
会 議 資 料	(1) 次第 (2) 委員名簿 (3) ご議論いただきたいこと (4) 使用済み紙おむつ：補助資料 (5) 資料1：紙おむつの資源化について (6) 資料2：使用済み紙おむつの再生利用等の促進 (7) 資料3：使用済み紙おむつの再生利用等に関する自治体 向けパンフレット (8) 資料4：組成分析結果の比較 (9) 資料5：使用済み紙おむつ処理施設整備運営に係る サウンディング調査 (10) 資料6：所沢市：有害ごみ (11) 資料7：所沢市：電池類の現状 (12) 資料8：実証試験報道発表 (13) 資料9：所沢市：リチウムイオン電池による火災等 (14) 資料10：電池類の分別について (15) 資料11：三郷市：小型充電式電池回収対象 (16) 資料12：名古屋市：電池類の出し方

担 当 部 課 名	環境クリーン部長	安藤 善雄
	環境クリーン部次長	菅原 聖二
	収集管理事務所長	川原 利和
	西部クリーンセンター所長	池田 康徳
	東部クリーンセンター所長	大館 正
	東部クリーンセンター主幹	吉田 孝之
	資源循環推進課	課長 山屋 貴裕
		主幹 田島 幸雄
		副主幹 内野 忠雄
		副主幹 大島 要一
		主査 飯塚 健
		主任 濱仲 拓巳
		主事 八木下 綾
	電話 環境クリーン部資源循環推進課 04-2998-9146	

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
資源循環推進課 主幹	<p>第 2 回所沢市廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。</p> <p>本日、尾崎範子委員、澁谷正則委員の 2 名が欠席となっております。出席委員は過半数に達しておりますので、本委員会は成立していることを報告いたします。</p> <p>本市では会議を原則公開としております。本審議会におきましても審議に著しい支障が生じる場合を除き、原則公開ということでお願いしております。</p> <p>それでは、これからの進行は審議会条例に基づき渡辺会長にお願いいたします。</p>
会長	<p>皆さん、お忙しい中、ご出席頂きありがとうございます。</p> <p>本日の傍聴者について報告をお願いします。</p>
資源循環推進課 主幹	<p>本日、傍聴者はありません。</p>
会長	<p>配布資料の確認について事務局からお願いします。</p>
資源循環推進課 主事	<p>（配布資料の確認が行われた）</p>
会長	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>議事（1）について、事務局から説明をお願いします。</p>
資源循環推進課 主事	<p>（補助資料及び資料 1 から資料 5 まで説明が行われた）</p>
会長	<p>リサイクルにより費用を削減するという話がありましたが、リサイクルした方が焼却するよりランニングコストは安くなるのでしょうか。</p>
資源循環推進課 主査	<p>紙おむつをリサイクルすることにより、その分の焼却施設の規模を小さくし、コストを削減できると思います。</p>
会長	<p>紙おむつの論点で言うと、資源化がいいのかどうかというのがありますし、一般家庭のものを対象にするのか、事業系のものを対象とするのか、家庭から集める場合はどのように集めるかなどの課題が出てくると思います。</p>

委員	<p>ごみが指定袋制となっている多摩地域では、子育て支援や高齢者支援の観点から、紙おむつを分けて出せば無料という制度があり、紙おむつがきれいに分別されるので、リサイクルした方が良いという感じになりますが、所沢市はそのような制度が無いので、可燃ごみに入っているものを分ける必要があります。それが市民感覚からして可能かどうか考えていただきたいと思います。</p> <p>ごみの焼却に係る処理原価が1トンあたり7万円の処理費用がかかっていて、紙おむつだけで2億5千万円かかるとのことですが、例えばそれをリサイクルした時に、この費用を下回るのでしょうか。</p> <p>現在、衛生の観点から熱処理していると思いますが、リサイクルした場合に温暖化対策になるのか。また、メーカーサイドがどのように考えているのか捉えておかないと、一生懸命集めても、大部分がリサイクルできないという形になってしまうのではないのでしょうか。</p> <p>九州では水平リサイクルに近いですが、全体ではサーマルリサイクルが多いので、どのような違いがあるのか市民の方に説明しないと、リサイクルする意義がなかなか見えてこないと思います。</p>
資源循環推進課 主査	<p>リサイクルによる費用や効果については、現在実施しているサウンディング調査で、紙おむつのリサイクルを行う事業者から費用等について確認できると考えています。</p> <p>所沢市では衛生の観点から紙おむつは焼却していますが、ユニ・チャームでは、パルプをオゾン処理して再生したり、SAP（高分子吸水材）も再生して、新たに紙おむつを作っていますので、今後参考にしていきたいと思います。</p> <p>温暖化対策については、マテリアルリサイクルの方がCO2を削減できると聞いております。</p> <p>現在、紙おむつをリサイクルする事業者においては、マテリアルリサイクルよりもサーマルリサイクルをしているところが多いですが、どのようなメリット・デメリットがあるかは市民説明が必要と考えています。</p>
会長	<p>少し補足しますと、使用済みの紙おむつはかなり水分が多いので、燃やしにくい部類に入ります。そこからし尿を分離して、燃える分だけをペレットにするという形になるので、熱回収の効率としては上がるということになると思います。</p>
副会長	<p>紙おむつの処理は、所沢市だけの問題ではなく、所沢市単体や地域で連合してやることでもないと思います。</p>

<p>資源循環推進課長</p>	<p>拡大生産者責任を取り入れながら、メーカー、自治体、市民がそれぞれ費用負担して処理をするべきではないでしょうか。</p> <p>例えば、彩の国資源循環工場に紙おむつ処理施設を作って、県内の自治体がそこに持って行くとか、そこまでの中間処理を各自治体がやるとか、何か大きな仕組みの中で紙おむつの処理というのは考えた方が良いと思います。</p> <p>紙おむつの処理施設を作るのは非常にお金がかかるので、市場のメカニズムに乗れるようなりサイクルの仕組みを作って行かなくてはいけないと感じています。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>所沢市だけでやっていくよりも、多くの自治体で量を確保してやった方が、スケールメリットにより効率やコスト面で良いですし、埼玉県西部地区の所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市の5市が広域行政で様々な共通した課題を一緒に検討していますので、その枠組みの中で話していくことを考えているところです。</p> <p>拡大生産者責任という話がありましたが、八王子市では、東京都が行う実証事業に協力し、凸版印刷株式会社等と協同で使用済み紙おむつの資源化を検討しており、製造業の方でも資源の循環を促進していくという意識が高くなっていると感じています。</p> <p>紙おむつに含まれている高分子ポリマーは石油由来ですが、石油燃料は燃やすことでCO2が発生します、新たに取ってきた石油を燃やすのと、廃棄物を資源化したものを燃やすのと、どちらが環境にやさしいのか考える必要があるかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>所沢市では分別を細やかにしている中で、さらに細分化してご家庭から出し方を変えていくことは大変かと思いますので、一部の事業所とか集積されているところに対して、取り組みを進めることもひとつかと思います。</p> <p>現在、サウンディング調査をしていて、その中で介護施設や保育園等に特化した提案もあると思うのですが、所沢市のような大きい自治体で検討されている事例は全国であまりないので、国からも助言できればと思っております。</p> <p>ただ、回収というのは、大きい自治体ほど大変になる場合があるので、その辺を教えていただければと思います。</p>
<p>資源循環推進課主査</p>	<p>所沢市は10分別と細かいため、紙おむつだけを回収することは現状では難しいと考えています。もし、家庭からの紙おむつを集めるとなると、他のものと同日回収するなどの検討が必要になると思います。</p> <p>まずは介護施設や保育所などの民間施設から排出される紙おむ</p>

<p>会長</p>	<p>つを回収して減量していくこともひとつの方法と考えています。</p> <p>ごみの取り組み方から言うと、リデュースが1番で、リユース、リサイクルという形になる訳で、紙おむつもリデュースを考えてはと思います。</p> <p>使い捨て紙おむつが出る前は布おむつが存在したわけですし、高齢者の場合だと、自力でトイレに行けるけれども、介助が手間なので、入所者は皆紙おむつをさせて使用を増やしていることがあるとか、泌尿器科の先生に言わせると、高齢者でもトレーニングをすれば紙おむつに頼らなくてもかなりいけるとか、高齢者のクオリティオブライフを考えても、誇りというか尊厳ということに対しても、紙おむつ無しにしたいという高齢者が結構多いと思うので、その支援や啓発も必要なのかと思いますが、高齢者の介護、あるいは施設等に関わりのある方などからお話があれば是非お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>今年から5人に1人は高齢者と言われてはいますが、紙おむつとリハビリパンツというのがあります。リハビリパンツの方がまだ薄いと思います。これから5人に1人が利用すると考えるのならば、紙おむつの質を薄く軽くできないかと思います。</p> <p>紙おむつのリサイクルでは、固形燃料とか段ボールの原料になると言われておりますので、紙おむつの質を少し軽くできないものか、吸収を良くできないものかと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>私の自治会では高齢者が多いのですが、年末年始は燃やせるごみ一杯になっていました。なぜかという、紙おむつが大半を占めていたということです。</p> <p>最終処分場の延命化のためには、我々はごみの分別をすることが第一目標なのですが、市ではごみの分別はこれ以上増やせず、紙おむつだけを分別することは難しいとのことでした。</p> <p>紙おむつの集団資源回収をやると、高齢者の多い自治会・町内会は収入源になる可能性があります。高齢者の多い自治会では、集団資源回収の収入に頼っているところが多いです。</p> <p>もし、紙おむつの回収をやるのであれば、プラスαになるのではないかと思うので、色々問題がありますが、検討してもらいたいと思います。</p>
<p>資源循環推進課長</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>紙おむつを薄くすることについて、当然紙おむつ自体の質量が減れば燃やしたとしても環境影響が小さくなりますので、そういうものが出てくるといいと思います。</p> <p>会長からもありました高齢者のクオリティオブライフというこ</p>

	<p>とで、がんばれば自分で用が足せる高齢者もいるので、そういったところを支援というお話もありました。</p> <p>高齢者の支援というと、高齢者施設は人の力に頼っている職場です。難しさというのは実際あると思いますが、そこを何とかしてほしいとは市としてなかなか言いづらいところではあります。</p> <p>集団資源回収については、色んなやり方があるのですが、集積所に出していただくパターンもありますし、自治会等によっては自宅の前に出していただくようなところもあります。そうなるくと、紙おむつを出している状況がご近所にわかってしまいますし、衛生的な問題で集積所では良くて自宅の前では抵抗感があると思います。</p> <p>ただ、これ以上の分別は難しいという話は、単純に日数の問題で、所沢市のごみのカレンダーでは5週目を除いて1日も隙間が無い状況です。現実的なのは保育所とか事業系のところから手を付けるというものですが、今後は家庭系のもはこういった回収方法があるのか考えていかなければいけないと認識しております。</p> <p>集団資源回収のようなアイデアがあれば、教えていただくと非常にありがたいです。</p>
<p>資源循環推進課 主査</p>	<p>追加でお願いしたい点があります。</p> <p>資料1の裏に使用済み紙おむつリサイクル事例というのがあって、いろいろな自治体の事例が書いてあります。</p> <p>例えば福岡県の大木町ですが、専用の回収ボックスを町内に59か所設置して、週2回収しています。</p> <p>鹿児島県志布志市では、市内80か所にボックスを設置して回収しています。</p> <p>自治体の規模も違いますので、参考にすることは難しいかも知れませんが、拠点回収を行っている自治体もあることも含めて、所沢市でどうしていくと良いかアイデアがありましたら、ご発言いただければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>拠点回収となるとボックスを置く場所を確保するという問題もあるかも知れませんが、市民の感覚として、紙おむつだけ分けて回収拠点に持って行くというのは可能だと思いますか。いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>し尿が入ると重くなるので、小さい子供の共働きの親が遠くの拠点まで持って行くことは難しいかと思えます。</p> <p>リデュースの観点で言うと、資料1の紙おむつの生産量は、子供用は2018年が2010年の1.7倍になっている。子供の数は減っているのに、紙おむつの生産量が増えているということは、一人の子供</p>

	<p>に対してたくさんの紙おむつを消費しているのではないかと思います。一人の子供にたくさんの紙おむつを使うのはリデュースに逆行していると思います。</p>
委員	<p>介護施設では、リハビリパンツの中に尿取りパッドを併用して使っているのですが、何枚も使っては困るというご家族の方もいまして、なるべく1、2時間ごとにトイレに連れてって欲しいと言われ、少ない職員で協力しています。</p> <p>リハビリパンツの中に尿取りパッドを使用すると、パッドを替えればリハビリパンツはそのまま使えるということですので、なるべく使用を控えるように日夜励んでおります。</p>
会長	<p>施設だとかなりの量の使い捨て紙おむつやパッドが毎日排出されるわけですね。</p>
委員	<p>毎日たくさんの量が出ています。</p>
会長	<p>それは、他の燃やすごみと分けて出されているのでしょうか。</p>
委員	<p>通常、紙おむつはひとまとめにして、燃やせるごみと別に行っていますが、事業系として全部同じところに行っていると思います。</p>
会長	<p>恐らく、現状ではそうなっていると思います。</p> <p>ただ、初めから分かれば、分別で収集することになっても対応はそれほど難しくないという感じかと思います。</p>
委員	<p>廃棄物処理法では衛生的に回収することを前提としていますので、事例の中にはステーション回収もありましたが、単純に効率だけを追求していくのが良いのか疑問に感じております。</p>
会長	<p>紙おむつを出す人というと、小さいお子さんがいる家庭か、高齢者の家庭かということで、高齢者に関しては、普通のごみを出すことすら大変で、ふれあい収集とかの対応をされている中で、こういうのはなかなか負担になるだろうという感じがします。</p>
委員	<p>所沢市全体として考えた場合、燃やせるごみと一緒に出すことを止めて、モデル地区など小さなところから分別をスタートすることも良いと思う。</p> <p>いきなり進めても市が赤字になってしまうなどの問題があるので、どうしたらいいのか検討していただきたい。</p>

委員	<p>私が勤務している病院では、なるべく紙おむつを使わないように、皆さんをトイレに誘導していますが、紙おむつは大量に毎日出ています。</p> <p>紙おむつはとても臭いますし、鼻水や唾液を含む尿便はすべて感染物として廃棄しています。</p> <p>今回、紙おむつのリサイクルと聞いてびっくりしましたが、オゾン処理で安全にできると聞いて安心しました。</p> <p>回収の仕方ですが、一般のごみを拠点回収するには衛生面や臭いで無理があると思います。</p> <p>紙おむつを使う赤ちゃんや高齢者の方は、何かしら保育施設やデイサービスに通っていたり、施設に関りがある人が多いと思いますので、そういうところで集めていただいて、事業所回収ができればいいと思います。</p>
会長	<p>現場の感覚も含めて貴重な意見だったと思います。</p>
委員	<p>先程、子供用の紙おむつの枚数が増えていると聞いて、私個人もびっくりしています。</p> <p>子供用は恐らく輸出用とか別の理由で増えているものも入っている気がします。ここは事務局の方で、利用見込みと製造は分けて確認されるとよろしいかと思います。</p> <p>省資源化していくという方向性については、高齢化で紙おむつの使用量が増えそうだとあたりを軸に据えて、実証的な回収をされるのか、どのようにメッセージを出すのかを考えた方が、受け入れる側も理解されやすいと思います。</p> <p>例えば、集めやすいという理由で、保育園にお願いすることもあると思うんですけど、検討の背景との整合性と少しずれていないかと個人的に感じたところもありますので、検討の背景として高齢化というところを掲げるようでしたら、それに見合ったような取り組みという形がよろしいかと思いました。</p>
委員	<p>資料の2枚目の裏ですけれど、家庭から出る紙おむつの量と事業所や保育所から出る紙おむつの量の割合は出ているのでしょうか。</p>
資源循環推進課 主査	<p>事業所のものは調査しておりませんので、家庭からのものだけを今回の資料に載せている状況です。事業所から出てくるものは、現時点で把握はしておりません。</p>
委員	<p>事業所から出ている紙おむつも試験的にやってみて、その後に一般家庭からの紙おむつ回収を進めていけば良いと思います。</p> <p>福岡県の大木町は 59 か所で拠点回収とありましたが、重量の</p>

	<p>問題もありますし、毎日出るので、拠点回収はなかなか難しいと思います。やはり一般家庭から出る紙おむつごみを回収するには、集積所で可燃ごみの日に紙おむつの専用袋に入れたものを出してもらう形が良いと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>事業系の方は量の推計はできると思いますので、取り組みを始めるというのであれば、まず調査されてからかと思います。</p> <p>事業系廃棄物というのは、事業所が責任を持ってやるというところがありますので、そういう意味では事業所に紙おむつをリサイクルする流れもあることを市役所の方でお伝えするのも良いのかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>団塊の世代の方はますます紙おむつの需要が多くなると思います。多分、ここ2,3年でもっと増えると思うので、事業系から1日あたりどのくらい排出されているか、把握した方が良いでしょう。</p>
<p>会長</p>	<p>他に無いようでしたら、次に移りたいと思います。</p> <p>議事（2）について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>資源循環推進課 主事</p>	<p>（資料6から資料12まで説明が行われた）</p>
<p>会長</p>	<p>他都市事例として、三郷市は拠点回収、名古屋市は各家庭から電池類ということで集めているとのこと。</p> <p>全国各地でリチウムイオン電池の使用が増えて、発火事件もかなり増える傾向にあり、収集車の火災や施設火災など、様々なことが起きているので、何らかの対策が必要だと感じています。</p> <p>現在、電池を含む製品あるいは電池自体を捨てる時に困ったとか、何かありますか。</p>
<p>副会長</p>	<p>以前、タンス携帯を集めるキャンペーンを国がやっていたと思いますが、それは無くなったのでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>小型家電リサイクル法の関係で、制度が平成22年に出来まして、当時は報道等もしていただいたのですが、年数が経ってしまい、目立たせていただく機会が無くなっているという状況です。</p> <p>ただ、制度としてはありますので、ご利用いただけます。</p>
<p>会長</p>	<p>あと、東京都がオリンピックのメダルを、回収された金属から作るというので一生懸命集めていましたが、オリンピックが終わって</p>

副会長	<p>熱も冷めてしまっているという感じがします。</p> <p>その時に、携帯を買い替えてもリサイクルに出さないで、お家にずっとしまっている人が多いと聞きました。今でもそうだと思いますが、お家にあるものをどうやって外に出すかという問題があります。それから、どうやってそれだけを分別していけるのか、市民として回収に協力できるのか、その3点を考えて行く必要があると思います。</p> <p>先日、川口市の清掃工場で火事がありました。そういう事例も出しながら啓発を徹底していくべきではないのかなと思います。</p>
会長	<p>どれがリチウムイオン電池なのかというのが市民感覚で区別することは難しいところがあるかと思います。</p> <p>電池が入っている状態のまま出すと小型家電製品で回収してくれるが、取り出そうと思うと難しかったりします。</p> <p>どのように分別するのが良いかとか、これは実用的とか実用的でないとか、ご意見をいただければ良いかと思います。</p>
委員	<p>多くの都市がリチウムイオン電池で被害にあっていて、全国的に問題になっています。</p> <p>全国都市清掃会議としても国や経産省に対して要望をしていますが、なかなか経産省で縛れないし、出たごみは自治体の責任でやるという流れの中で、なかなか火災が収まらないので、自治体が様々な取り組みを始めたところです。</p> <p>一方で JBRC は会員のものではないと集めませんし、夏場に目にする小型の扇風機はリチウムイオン電池が入っていますが、製品と一緒にになっているものは集められないので、どうするのが一番良いのか自治体の方とお話させていただいています。</p> <p>そんな中で、お金はかかりますが、名古屋市方式でいっぺんに集めれば市民にとって出しやすいのかなと思います。</p> <p>ただ、これだと自治体の経費も掛かってくるので、リチウムイオン電池はメーカーに引き取ってもらうよう宣伝するしかないと思います。</p>
会長	<p>多分、ごみ収集車とごみ処理施設が火事を起こすことを考えれば、名古屋市方式のコストをかけてもやった方が良いという気もします。これだったら、電池ということであれば分けることは可能だと思います。市民の委員の方はいかがでしょうか。</p>
委員	<p>電池の分別回収の前に、小型家電の電池がどこにあるのか。どうやって取れば良いのか。どんどん小型化していくので、電池もだん</p>

<p>委員</p>	<p>だん小さくなっていく。 リサイクル以前に、そもそも最初の段階がやりにくい状況です。</p> <p>太平洋セメントや松田産業がレアメタルリサイクルに取り組んでいる実証試験を行っています。これは将来的に受け皿として成立するのでしょうか。</p> <p>例えば電池単体でなければならないのか、あるいは、ハンドルの扇風機のように、組み込んだものも一括処理できるのか、それによって収集方法が変わります。</p> <p>これはどんな状況なのか、わかる範囲で教えていただきたいと思います。</p>
<p>資源循環推進課 主査</p>	<p>これは最近始めたばかりの事業で、対象は製品一体のものではなく、電池だけになります。</p> <p>クリーンセンターである程度種類別に分別して、リサイクルする流れとなっています。</p> <p>これが上手くいけば、名古屋市のように電池を一括で回収してリサイクルすることができると思います。</p>
<p>資源循環推進課 長</p>	<p>補足ですが、県の取り組みについては、リチウムイオン電池はレアメタルが含まれているということで、「ブラックマス」というものを回収して貴重な金属として再資源化するものです。</p> <p>埼玉県としてはひとつモデルを作って多くの自治体が参加できるようなことを目指したいということのようです。</p>
<p>委員</p>	<p>所沢市では有害ごみと小型家電製品と二つのカテゴリーがありますが、回収した後はどのようなプロセスで処理されているのかを教えてくださいたいと思います。</p> <p>その過程でどのくらい電池を外す、あるいは、さらに分別するのか、市が使われている処分のルートで難しいのか、教えてくださいたいと思います。</p> <p>国の方では、再資源化事業等高度化法という法律で、製造者の側も含めて、貴金属等が入っているものを広域的に回収していくようなスキームを一括で国が認定するなど、新しい制度を作っています。</p> <p>日本は貴金属を輸入して使っていますので、そういったものを有効利用できるような制度となっています。</p>
<p>東部クリーンセンター 所長</p>	<p>リチウムイオン電池やニッケル水素電池は、基本的には出してはいけないごみになっていますが、実際には乾電池に紛れ込んで捨てられており、一定数量がクリーンセンターに入ってきます。</p>

	<p>乾電池とリチウムイオン電池やニッケル水素電池、ニッカド電池、ボタン電池をすべて分けており、今年度からはリチウムイオン電池とニッケル水素電池は、売却しています。</p> <p>ニッカド電池は JBRC に、ボタン電池はクリーンセンター内で保管中という状況です。</p> <p>小型家電製品は、ボタン電池が入ったままの製品や大きな充電式電池の入った製品も収集されますが、大きなリチウムイオン電池が入っている製品は、そのまま資源化業者に出すと破碎の過程で火花がでるので、クリーンセンターの中で電池を分けております。</p>
委員	<p>確認ですが、クリーンセンターで発火してしまう電池などは、分別を最大限努力されていますが、小さなものが残存しているという状況ですか。</p>
東部クリーンセンター所長	<p>本来は、電池を内蔵するものは小型家電製品の日に出していただきますので、クリーンセンター内で破碎することはありませんが、破碎ごみの中に電池内蔵製品が紛れ込み、機械で細かく破碎する過程で発火したことがあります。</p>
会長	<p>現状、有害ごみの中に充電式電池も入ってきていて、処理施設の方で分けられているということですが、それがもう少し増えても問題ないということであれば、名古屋市方式が可能となりますが、余力とか手間はいかがでしょうか。</p>
東部クリーンセンター所長	<p>所沢市で今後、このように分別するのであれば、他市の事例で、例えば、人口何万人の都市で何トンくらいのリチウムイオン電池が集まっているとかを研究しなければならないと思っています。</p> <p>今年度、リチウムイオン電池は4月から12月までで1,090kg集まって外部に搬出していますが、この量の2倍くらいまでであれば現場での対応が可能ではないかと思います。ただ、それ以上の量が集まってしまうと、委託業者側も専用の人員を置かないと捌ききれません。電池だけを集めるのか、電池内蔵の小さな小型家電まで集めるのか、それによって集まる数量も違ってきますので、どのくらい手間がかかるかというのは対象品目によっても変わってくると思います。</p>
委員	<p>有害ごみの対象物は、蛍光管を含めて基本的に何らかの水銀が入っていることに主眼があるのかと思いますが、蛍光管自体が販売を含めて製造禁止になるので、恐らく量が減ってきているのではと推測しております。</p> <p>その上で、例えば、有害ごみの回収量が減り、バッテリーなどの</p>

<p>資源循環推進課長</p>	<p>入って欲しくないものがあるということでしたら、中長期的な検討の課題になると思いますが、小型家電製品と有害ごみを統合していくということも考えてはどうでしょうか。</p> <p>有害ごみと小型家電製品を一緒に集めたらということで、可能性としては、無くはない気がしています。</p> <p>ただ、所沢市では有害ごみというのは、「破碎ごみ類」というものと同じ日に集めています。破碎ごみ類というのは量がありますので、有害ごみと小型家電製品を一緒にというのはひとつのアイデアとして検討する価値はあるかなと思います。</p> <p>破碎ごみ類と小型家電製品を一緒に回収することはできないので、技術的なところを考えていく必要があります。</p>
<p>委員</p>	<p>電池の分別が難しいことがパッカー車の火災につながっていると思うので、名古屋市の一括回収というのが魅力的だと思います。</p> <p>乾電池はいいのですが、リチウムイオン電池を電気屋さんを持っていけず、家にしまい込んでしまっているということもあるので、一括で回収していただければ助かります。</p>
<p>委員</p>	<p>ものすごく電池の種類があっぴくりしていますが、とりあえず、使った電池は家電量販店とか、回収ボックスに入れたり、捨てる時はテープを貼って、ショートしないように気を付けるとよいかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>市民の中には、そもそも電池が入っているかどうか分からないという場合も結構あったりすると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>高齢の母親が一人暮らしをしていますが、電池が入っているのか、何電池なのか、仮に電池の種類がわかってもお店に行けないし、とにかく電池難民ですので、一括で出してよいということであれば、何とか出せると思います。</p> <p>高齢者の方は、製品に何がどう使われているというのはわからないので、作る方も分かりやすく作っていただきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>小型家電の処理の方法含めて、分別はどうしたら良いのか、市民にアナウンスしていったらどうでしょうか。</p> <p>中に組み込まれた電池などは、取り出すのに特殊なドライバーや小さい工具が必要になってくる。</p> <p>わからない市民は、そのまま危険物として出してしまうのではないのでしょうか。これは大きな課題で、その辺をどう市民に知ってもらうか、啓発していくのかという話だと思います。</p>

<p>資源循環推進課 長</p>	<p>家のごみを見ると、大体がお金を出して買ったもの、つまり経済活動の一つの流れの中にあるものですが、処理責任は自治体が包括的に負っているという現状があります。</p> <p>リチウムイオン電池やニッケル水素電池は個人としては便利なので買って使っていますが、自治体の立場からすると、お願いして作ってもらっている訳ではないのに、どんどん複雑化しています。</p> <p>例えば、ワイヤレスイヤホンや加熱式たばこ、歩くと光る子供の靴にも電池が入っているわけですが、処理責任だけ自治体は負っていて、リチウムイオン電池は扱いによっては発火してしまう。</p> <p>川口市の処理施設が正月に火事になりましたが、あれも原因がリチウムイオン電池の可能性が言われており、自治体としては非常に困っています。</p> <p>そこで、拡大生産者責任も含めて JBRC がリチウムイオン電池を集めることになりましたが、周知が徹底されていないことや拠点でしか集められないため、苦肉の策として自治体が費用をかけて集めた方がいいという話になっています。</p> <p>今日はいろいろな意見をいただきましたので、利便性や経済性について考えていこうと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>今日の話は、商品の特性と関わってくるので、拡大生産者責任の部分が大いと思うところです。</p> <p>どうやってこれに対応していくのかは難しい課題だと思いますが、今日の議論を市の方策に生かしていただければと思います。</p> <p>今日のトピックに関しては以上となります。</p> <p>その他について、事務局からお願いします。</p>
<p>資源循環推進課 主査</p>	<p>今後の日程についてご説明をさせて頂きたいと思います。</p> <p>次回の第3回審議会は、2月14日の午後3時、会場は、東部クリーンセンターの会議室となります。</p>
<p>会長</p>	<p>副会長から何かございますか。</p>
<p>副会長</p>	<p>今インフルエンザがすごく流行っているらしく、病院も大変なのかと思います。皆さん十分気を付けてお過ごしください。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>今回はプラスチックの話など、生活に密着する部分かと思いますが、是非ご関連なご意見をお願いしたいと思っています。</p> <p>皆さま、ご協力ありがとうございました。</p>

資源循環推進課 主幹	これにて本日の審議会を閉会いたします。 ありがとうございました。
---------------	-------------------------------------